5月15日

見頃を迎えたバラを楽しむ ごうど春のばらウィークイベント

町内生産者による▲
花卉の販売

▲バラで彩られた
フォトスポット

▲園内を解説するガーデンツアー

多彩なバラが見頃を迎えたばら公園いこいの広場で「ごうど春のばらウィークイベント」が開催されました。

町内生産組合による花卉の販売やキッチンカーが出店。園内のバラを解説するガーデンツアーも行われ、多くの方が参加しました。会場中央に設置されたフォトスポットでは、写真撮影をする方が列を作っていました。

バラの開花時期に合わせたイベントとしては3年ぶりの開催となり、多くの家族連れで賑わいました。

バラの香りに包まれた駅舎で「駅前ローズストリートイベント」開催

養老鉄道広神戸駅前で「ごうど町賑わいのあるまちづくり協議会」が主催する「駅前ローズストリートイベント」が開催され、約500人が訪れました。当日は駅舎前をバラの鉢植えで飾り、会場は華やかな香りで包まれました。花の販売や子ども遊び場コーナーなどが設置され、訪れた親子連れはメダカすくいや射的などを楽しみました。駅前のバラ苗の展示は5月22日まで継続され、訪れた方の目を楽しませました。

4月27日　神戸幼児園で神戸山王まつりを学ぶ

神戸幼児園の５歳児クラスが、「神戸山王まつり」について学びました。

氏子会の松本義雄事務局長から山王まつりや日吉神社に関するお話を聞いた後、小さなサイズの神輿と松明を使って渡御を体験。元気な掛け声が響く中、団七（ハッピ）を着て神輿を担いだ園児たちがホールの中を駆け抜けました。山王まつりは３年に渡って縮小開催となっていますが、今回の体験を通して園児たちはまつりを身近に感じることができました。

4月28日　100歳おめでとうございます！

100歳を迎えられた石﨑文子さん（川西）のもとを谷村町長が訪問し、バラの花束や果物ゼリーなどお祝いの品を贈りました。

石﨑さんは100歳を超えた現在でも歩行器を使用して自分で歩くことができ、今年の春にはお花見にも出かけられたそうです。当日は娘さんがお祝いのために用意されたカステラに立てられたロウソクの火を自分で吹き消し、「ありがとうございます」とお礼を述べられました。

4月29日・30日　町立図書館で木の手づくりおもちゃ体験

町立図書館の多目的ホールにおいて、木のおもちゃで遊ぶ体験スペースが設けられ、多くの家族連れが訪れました。

木のおもちゃを製作したのは、町内在住の水野惠正さん。最初はお孫さんのために作り始め、現在の作品数は100種類を超えます。

乗って遊べるバイクや車をはじめ、スライダーや人形など、木のぬくもりにあふれた多数の作品が並べられ、子どもたちは思い思いに遊んでいました。

4月29日 アルパの音色軽やかに「着物で楽しむ善学院」が開催されました

善学院において、町観光ボランティアガイドの会主催のイベント「着物で楽しむ春の善学院」が開催され、24名の方が参加しました。

本堂内で善学院についての説明を受けた後、通常は１月３日にしか公開されない「元三大師堂」を見学。その後、演奏グループ「CoraZon」による弦楽器アルパの演奏を楽しみました。当日はあいにくの空模様でしたが着物を着て参加する方も見られ、参加者は非日常な空間に響く美しい音色を楽しみました。

5月1日~4日 ３年ぶり　神戸山王まつり神輿が一堂に

日吉神社で「神戸山王まつり」の神輿７基の一般公開が行われました。

例年の神戸山王まつりでは、多くの松明に囲まれながら力強く走り抜ける姿で親しまれていますが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため３年連続で実施を見合わせることになりました。

「多くの人に神輿を見てもらい、伝統を繋げられれば」という思いから氏子総代会が展示を企画。期間中は多くの方が訪れ、美しい姿を写真に収めていました。

5月6日 第一生命保険株式会社と健康に関する協定を結びました

４月１日に神戸町との間で取り交わした「健康増進に関する町民生活支援のための連携と協働に関する協定書」についての懇談会が開かれ、第一生命岐阜支社の清水支社長ら４名が谷村町長を訪問しました。

懇談会では、これまでの第一生命の取組を紹介され、がん検診受診率向上をはじめとする町民の健康づくりについて、連携を図っていくと意気込みを語られました。